



シルバー人材センター通信

平成22年

第20号

10月25日発行

# みなみえちぜん



企画提案型事業：伝承手仕事稲刈り作業（甲斐城にて）

発行：(社)南越前町シルバー人材センター

編集：(社)南越前町シルバー人材センター広報委員会

住所：福井県南条郡南越前町今庄第 84 号 24 番地の 1

TEL.0778-45-1102 FAX.0778-45-1851

E-mail : [minamiechizen@sjc.ne.jp](mailto:minamiechizen@sjc.ne.jp) URL : <http://www.sjc.ne.jp/minamiechizen/>

会員の状況【9月末現在】

総会員数296名

男性会員142名

女性会員154名



### 新しく始めた 企画提案型事業とは

本年度より取り組みを始めた、企画提案型事業は、介護予防・環境・教育・子育ての部門にわかれています。

#### ●介護予防部門

健康教室・軽い体操やハイキング  
唱歌教室・歌とリズム遊び  
料理教室・自家野菜を使つて

#### ●環境部門

ゴミ問題・ゴミの不法投棄巡視  
農村環境・耕作放棄地対策

#### ●教育部門(異世代交流)

竹炭教室・竹炭製造・竹の有効活用  
と竹炭製造体験  
伝承技術・ワラ・野シバなど自然界  
の素材使用

伝承遊び・地域に残っている昔から  
の遊び伝承

#### ●子育て部門

・子供さんの一時預かり  
・子育て支援  
などが主な予定です。これからは具体的  
な取り組み開始に向けて、会員や  
広く町民の方々と意見交換をしながら、  
より効果のある事業展開をめざしてい  
ます。

センターではこれらの事業を通して、  
センター事業が広く町民各位のご理解  
を得るとともに、会員の就業機会の向  
上に結びつき、活力ある組織運営の実  
現に希望を持っています。

事業の展開について、いつでもお気  
づきの点がございましたらご提案くだ  
さい。



写真は健康教室でのハイキングの様  
子です。

このように、私たちの暮らしの身近  
なところで、高齢者が生きいきと活動  
できる機会や、場所の確保ができたら  
とてもよいことです。

企画提案型事業への参画をよろしく  
お願いいたします。

### 理事会報告

開催日 八月二十五日(水)

#### ●審議事項

- ① 新入会員の承認について
- ② 配分金規約の一部改正について
- ③ 事務費率改定に伴う「要望書」の取  
り扱いについて

#### ●報告事項

- ① 七月末事業実績報告
- ② 事業推進懇話会の開催経過報告
- ③ 安全委員会報告
- ④ 中学校安全パトロール経過報告
- ⑤ 不法投棄防止の巡視経過報告
- ⑥ 企画提案型事業の進捗状況報告
- ⑦ 地区別懇談会の開催について

#### ●配分金規約の改正内容

今回の理事会で、配分金の支払期日  
を今までの翌月二十七日から「月末日  
支払い」になりました。月末が金融機  
関の休業日に当たるときは、その前日  
といたします。何かとご不便をおかけ  
いたしますが、ご理解の程よろしくお願  
いいたします。また、来年度からの事  
務費率については5%から7%に改定の  
依頼を関係機関、諸団体、一般家庭へ  
ご理解を求めるといたしました。

### 地区別懇談会の 開催報告

今回の地区別懇談会は八月二十五日  
(水)午後一時より三地区一斉開催とい  
ました。

会員旅行の取りまとめや、安全就業  
運動の徹底を中心に開催いたしました。  
今年の夏は例年になく「酷暑」となり  
ましたが、心配された熱中症や大きな  
事故もなく経過しています。このことは、  
会員のお一人お一人の心遣いの結果と喜  
んでいます。無事故がこれからも続き  
ますよう共に気配りいたしましょう。

事務局では、職域ごとに就業会員の  
意見交換会や就業環境改善の情報収集  
の観点から、職域ミーティングを順次  
開催したいと思っております。ご協力をお願  
いいたします。





### 企画提案型事業

こんな事やってますよ～(\*^\_^\*) 現在進行中で～す!



#### 竹炭体験

竹の材料収集、竹割も終了しあとは 10月28日の竹炭講習会を開催して竹炭作りを行います。竹炭講習会は旧宅良保育所横広場で行います。一度来て観て体験してください。

#### 唱歌教室

8月25日の地区別懇談会のあと、各地区にて唱歌教室を開催しました。地元の合唱団『四季』の皆さんに今庄・河野地区を、ゆみ音楽事務所さんには南条地区をそれぞれ講師としてお願いしました。小学校の音楽室でなつかしい唱歌を歌って楽しいひと時でした。この模様は、8月26日の福井新聞「街路樹」にも活動の様子が紹介されました。



#### 大良の蛇祭り



昔、大良には蛇の住む池がありました。ある日、お遍路さんが池の畔で着物の裾を洗っていると、蛇が出て着物をくわえ、池に引き込んでしまいました。それ以後、この池には蛇の夫婦が住むと伝えられてきました。  
ある年の夏、大谷の若者が牛を連れて府中に行き、米を買った帰り道にこの池の側まで来たときのこと。米を脊にのせていた牛が何かの気配を感じて歩くのをやめたのです。若者が見たのは、とくろを巻いて眠っている二匹の蛇でした。若者は辺りの枯れ草に

火をつけて蛇を焼き殺そうとしました。雄蛇は死んでしまいましたが、雌蛇は立石浦のイノガ池に逃げたということ。そのとき、雌蛇は逃げる途中に通った跡が今でも浜辺に残っているそうです。

毎年七月十六日に「蛇祭り」が行われています。穀物を盛んに燃やし、「蛇見（じゃみ）」「蛇見」と叫びながら逃げた雌蛇を慰めているということです。

(河野村百十五年の軌跡より抜粋)





# お知らせ

INFORMATION



子育てには、たくさんの方のストレスがつきものです。カルチャーセンターに行く・ボランティア活動に参加する・ショッピングに行く・あなたらしく上手にストレスを解消させ、すっきりとした気持ちでお子さんと向き合ってもらいたい。そんな気持ちで子育て支援事業の一環として「南越前町すみずみサポート事業」の委託を受け、一時預かりの家「おんぶ」を開設します。

じいちゃん、ばあちゃんが子守りをするゆつたりとあったかいお家をめざします。どうぞ、お気軽にご利用ください。なお、詳しいことは別紙をご覧ください。

※お願い 使わなくなった絵本、おもちゃがありましたら寄付して下さい。

## シルバーボランティア

十月十五日(金)恒例のボランティア活動を行いました。この日南条地区は役場周辺、今庄地区は保健センター周辺の清掃作業。河野地区は馬借街道整備補修作業を実施いたしました。会員約八十名が参加しセンターの普及啓発活動を展開いたしました。

センター事業を広く町民の方々にご理解いただくとともに、私たちの活動が地域に貢献できる運動として取り組みました。参加された会員の皆さん御苦労さまでした。



## 投稿



互助会親睦旅行に参加して

未曾有の猛暑続きの夏も過ぎ長月の近江路天候にも恵まれ胸ワクワクさせ乍ら充溢した歓喜を持って参加させて貰いました。大通寺に代表される仏閣建築物、壁画、屏風展示物、戦乱期の名残りもあり今庄北国街道―若狭熊川宿―黒壁スクエア―に共通する町並みも見ることが出来ました。

宴席では久々の再会を喜び合う人、手をとり肩を叩き健在ぶりをアピールする人や尽きない近況の語らい「ヨ―お前、達者か俺もこの通り元気じゃの」頼もしい。食膳には地場の逸品「山・海・里の珍味」が所狭しと揃い舌鼓を打ちながら我こそはと披露する歌あり、踊りあり多士済々の千両役者の晴れ舞台。三地区エンターテナーの共演とバラエティに富んだ最高潮の盛り上がりヤンヤの喝采延々と続く至福の宴でした。この催しが、明日への活力源、発奮材料にもなります。親睦、交流を密にして共に頑張りましょう。

有難うございました。

会員 T・I

## 編集 後記

て行きます。

吾家に巣作りした燕も無事巣立つて帰りました。実はここ数年巣作りした処を鴉に襲われ悲しい思いをして来たのです。でも、今年は幸いに無事巣作りも出来、子燕の元気な鳴き声を聞く事が出来ほっとしていました。

ところがある日、道に子燕が落ちてくるのを見つけ、驚いて梯子を持ち出し子燕を巣に入れてやりました。ところがどうした事か、巣の中の燕が一緒になつてその子燕を押し出してしまふのです。生きる難しさは、燕の世界にもある様です。外敵からやと逃れて生を受けたのに、発育が悪ければ家族からも見放されてしまうのでしょうか。私にはどうする事も出来ません。ショックで二、三日落ち着きませんでした。間もなく燕は無地帰りましたが、この夏の悲しい出来事の一つとして残りました。

さて、会員の皆様、ようこそこの猛暑を頑張り、切り抜けてまいりました。これからも呉々も御身大切に頑張りましょう。皆様の御投稿お待ちいたします。

広報委員 大塚 富士子

碧天に帰燕の群の数増せり

燕は春南方からや  
つて来て、巣を営み、  
子を育て、秋に帰っ